癌化学療法に伴う悪心・嘔吐に用いられる制吐剤一覧表

アステム社内資料
H21.10

分類	商品名	会社名	一般名	投与経路					用法・用量(1日あたり)	主な副作用	作用機序
				経口	静注	点滴静注	筋注	坐剤			
5-HT3受容体拮抗剤	ナゼア	ｱｽﾃﾗｽ	塩酸ﾗﾓｾﾄﾛﾝ		●				0.3mg×1回	頭痛・頭重、めまい、下痢、倦怠感、肝機能障害、発熱、便秘など ※副作用の発現頻度は少ない	◆5-HT3受容体拮抗作用 ・腹部迷走神経末端上の5-HT3受容体を介して起こる嘔吐を抑制 ・CTZに存在する5-HT3受容体に直接作用して嘔吐を抑制(ｿﾞﾌﾗﾝ)
				OD錠注					0.1mg×1回		
	カイトリル	中外	塩酸ｸﾞﾗﾆｾﾄﾛﾝ		●				40μg/kg×1回		
				錠、細粒					2mg×1回		
	ゾフラン	GSK	塩酸ｵﾝﾀﾞﾝｾﾄﾛﾝ		● (緩徐に)				成人:4mg×1回 小児:2.5mg/m²×1回		
				錠 ｻﾞｲﾃﾞｨｽ注					成人:4mg×1回		
				ｼﾛｯﾌﾟ					小児:2.5mg/m²×1回(最大4mg/回)		
	セロトーン	大鵬=鳥居	塩酸ｱｻﾞｾﾄﾛﾝ	錠	●				10mg×1回		
	ナボバン	協和発酵ｷﾘﾝ	塩酸ﾄﾛﾋﾟｾﾄﾛﾝ	ｶﾌﾟｾﾙ					5mg×1回		
	シンセロン	ﾔｸﾙﾄ	塩酸ｲﾝｼﾞｾﾄﾛﾝ	錠					8mg×1回		
NK1受容体拮抗剤	イメンド★	小野	ｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄ	ｶﾌﾟｾﾙ					投与1日目:125mg×1回 2日目以降:80mg×1回	しゃっくり、ALT(GPT)上昇、便秘など	◆NK1受容体拮抗作用 ・悪心・嘔吐に関与する神経伝達物質サブスタンスPに拮抗
中枢性制吐剤	プリンペラン	ｱｽﾃﾗｽ	ﾒﾄｸﾛﾌﾟﾗﾐﾄﾞ	錠・細粒 ｼﾛｯﾌﾟ					成人:7.67～23.04mg/日、分2～3 小児:0.38～0.53mg/kg/日、分2～3	錐体外路症状、不穏、鎮静、女性化乳房	◆ドパミンD2受容体拮抗作用 ・CTZを抑制 ・大量投与により5-HT3受容体拮抗作用を示す
					●		●		7.67mg×1～2回		
	コントミン	田辺三菱=吉富薬品	(錠・注) 塩酸ｸﾛﾙﾌﾟﾛﾏｼﾞﾝ (散・顆粒) ﾋﾍﾞﾝｽﾞ酸ｸﾛﾙﾌﾟﾛﾏｼﾞﾝ	錠・散・顆粒					30～100mg/日、分数回	錐体外路症状、悪性症候群	◆ドパミンD2受容体拮抗作用
							● (緩徐に)		10～50mg×1回		
	ナウゼリン	協和発酵ｷﾘﾝ	ﾄﾞﾝﾍﾟﾘﾄﾞﾝ	錠・細粒 DS(小児のみ)					成人:5～10mg×3回 小児:1.0～2.0mg/kg/日、分3	錐体外路症状、女性化乳房、意識障害、痙攣	◆ドパミンD2受容体拮抗作用 ・CTZを抑制
								●	成人:60mg×2回 小児:3才未満 10mg×2～3回 3才以上 30mg×2～3回		

注:口腔内速溶錠

★:薬価基準未収載

◆主作用

詳細は添付文書等をご参照ください

【参考】各添付文書、医薬ジャーナル2001.2、Medicina 2001.2、1998.3